

Academic English Support Desk

英語プレゼンテーション 個人指導

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE) の Academic English Support Desk では、大阪大学に所属する全ての学生・教職員を対象に、**国際的な場面での発表を念頭に置いた英語プレゼンテーション・スキルの強化を図る個人指導**の場を提供しています。

英語で研究発表を行うにあたり、どんな表現や言い回しが適切とされるのか？

PowerPointで用いる視覚資料は、どんな工夫をすればオーディエンスの心を掴むのか？

そもそも、英語のプレゼンテーションとは、どう組み立てればいいのか？

口頭発表やポスター発表など、国際学会に向けた発表準備に取り掛かるにあたり、こうした疑問を持たれたことがある方は少なくないはず。この機会に Academic English Support Desk の**専門性の高いネイティブ・インストラクターによる個人指導 (チュートリアル)** の受講を通じて、基礎から応用まで、英語プレゼンテーションを成功させる秘訣を学んでみませんか。



英語プレゼンの構成に関する相談に対応

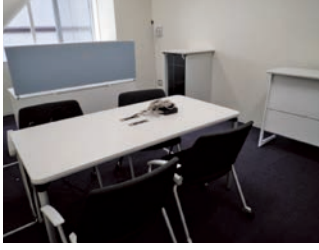


効果的な PowerPoint スライドの提示方法を解説



聴衆を惹きつける話し方、身振り手振りを指導

Academic English Support Desk 個人指導受講場所



吹田キャンパス

医学系研究科附属
最先端医療イノベーションセンター棟
2階 セミナー室 B (225 室)



吹田キャンパス

理工学図書館
西館 2 階
グループ学習室 1



豊中キャンパス

理学研究科
E 棟講義室



箕面キャンパス

言語文化研究科・外国語学部
A 棟 5 階 523 室

英語プレゼンテーション 個人指導受講の流れ

1 予約

専用のウェブサイトにて、希望受講日時を予約を取ります。

※一度の受講申請につき、3回を受講回数の上限とします。



2 受講申請書の提出

所定のフォームに必要事項（英文）を記入のうえ、予約日の翌日 17:00 を期限として MLE 担当者までメール添付にて提出します。



3 受講

予約スケジュールに即して、当該受講場所にてネイティブのインストラクターによるマンツーマンの指導を受けます。



4 報告書の提出

受講内容に関して、最終受講日から 2 週間後を期限として所定の報告書を MLE 担当者までメール添付にて提出します。

※報告書の提出後に限り、再度 3 回を上限として本プログラムの個人指導を再受講できます。

! Academic English Support Desk 英語プレゼンテーション個人指導に関する更新情報については、マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE) のホームページや KOAN 等を通じて順次お知らせします。

受講者の声

(※受講報告書の自由記述欄より抜粋)

ネイティブの先生に 1 対 1 でプレゼンを指導してもらった機会はなかなかないため、非常に勉強になった。3 回目の受講が終わった時には、1 回目と比較してとても成長したと実感することができた。

(人間科学研究科・M1)

本当にありがたいサポートだと思います。英語がネイティブで、かつ学術的にも医療の分野をよく分かっていらっしゃる先生なので、的確なアドバイスをいただいた。又、なるべく同じ用語を使わないようにボキャブラリーを増やす方法も指導していただいた。

(医学系研究科・D1)

初めての海外でのプレゼンテーションを控えての受講でしたが、とてもリラックスした雰囲気の中、内容や時間配分のチェック、発音やイントネーションの補正、バックグラウンドとなる知識の整理まで、多岐にわたってスキルが向上しとても有意義な時間を過ごすことができました。

(歯学研究科・D4)

すべて英語でのやりとりであったので、実際の講演をふまえて、いい練習ができた。また、単にスライドや原稿についての英語の指導のみならず、内容の周辺情報についてフランクに情報交換できたことが貴重な経験であった。

(薬学研究科・准教授)

ビデオ撮影を使ったプレゼン指導をしていただき、大変参考になりました。

(工学研究科・准教授)

プレゼンテーションの練習を始める前に軽く会話をしていただけただので、リラックスして取り組むことができました。

(情報科学研究科・M2)

今回の受講は国際学会での発表準備に役立ちましたか？

→役立った 98%

問合せ先

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム

Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp

URL: http://www.mle.osaka-u.ac.jp/

